



色鮮やかな ガラスマジック

淡い色、深い色、星のような輝き、オーロラを思わせる立体感。

ガラスがこんなにも表情豊かだったとは——
色や光を散りばめて、神秘の世界をかたち作る。



透き通った体に色とりどりの粒をまとったオオサンショウウオ。ガラスの中の花やクラゲは、本物かと思うほど精細で目を奪われる。

かわいらしく、美しく、生々しくもあるこの不思議なアート。モチーフとする生き物や植物はどれも個性的…。

「なぜこの形なのか、なぜこのように進化したのか、疑問に思った生き物や植物がモチーフ。爬虫類や両生類は、実物を見るのが苦手な人も多いので、ガラスできれいに見せることによって実物との違いを表現したい」と関さん。

パイレックスは、理科や科学の実験でおなじみのビーカーやフラスコなどの材料に使われるアメリカ製の耐熱ガラス。さまざまな色のガラスをバーナーで約2000℃に熱し、成形する。金属を混ぜてあぶると化学反応で色が変わって模様ができる。こうした作業をコツコツ重ね、植物や生き物を「色鮮やかに変身させる」。



れたことで、興味はガラスへと広がった。

熱に強く、割れにくく、透明度が高いパイレックス。その透き通る美しさ、自由に色が出せる面白さにますますはまっているという。

「その奥深さを知れば知るほど、ものづくりに終わりはないと実感する日々。進化し続ける作品でありたい」

「次の進化」として、日本の伝統文化との組み合わせも考えているという。「例えば着物の帯留めを作ってみたい。素材の魅力と和の文化、両方を引き立てられたら」

次に作品がどう変身を遂げるのか、ガラスマジックから目が離せない。

独学で始めたガラスアート。秋田公立美術工芸短大在学中は金属工芸の鑄金ちゅうきんを学んでいた。学生時代、ものづくりの楽しさにふ

YOSHIMI SEKI

ガラス作家

関 由美さん

Glass Neenah(グラス ニーナ)

<http://glassn.cart.fc2.com/>

E-mail neenah@wcs.jp

